

一般社団法人 所沢市医師会

所沢市医師会報

The Journal of the Tokorozawa Medical Association

- 追悼
- 私の診療
- リレーエッセイ（第9回）

2018年
3

第378号



第378号 目 次

桂 敏樹 先生 追悼	1
桂 敏樹先生を偲んで..... 久 我 堯	2
桂 敏樹先生を偲んで..... 原 敏	3
桂 敏樹先生の思い出..... 番 場 秀 和	4
桂 敏樹先生に想いを馳せて..... 北 畑 有 司	5
臨時会員総会	
臨時会員総会議事録.....	6
シリーズ⑤ 私の診療 第3回	
西埼玉中央病院の呼吸器診療現スタッフについての紹介・・ 濱 元 陽一郎	13
リレーエッセイ ～第9回～	
サクラの代替わり..... 平 林 多津司	16
学 術	
所沢市医師会学術講演会	
LUTS/BPH 治療における病診連携	
防衛医科大学校病院 泌尿器科 准教授	伊 藤 敬 一 19
C 型肝炎治療の最近の話題	
防衛医科大学校病院 内科学講座（消化器）准教授・・ 富 田 謙 吾	23
報 告	
所沢市医師会 麻雀愛好会報告 今期最終戦	瀬 川 大 輔 26
医師会旅行（高知県高知市）.....	三 浦 昇 悟 28
理事会議事録概要	
12 月定例理事会議事録	33
1 月臨時理事会議事録	41
1 月前期定例理事会議事録	46
1 月後期定例理事会議事録	51

シリーズ ⑤ 私の診療

西埼玉中央病院の呼吸器診療

現スタッフについての紹介 第3回

西埼玉中央病院呼吸器科の濱元です。所沢医師会報へ4回シリーズで寄稿させて頂いております。今回は第3回「西埼玉中央病院の呼吸器診療現スタッフについての紹介」です。西埼玉中央病院呼吸器科は、純粋に呼吸器診療を行いたい気持ちで、医師が集まり診療を行っています。

1. 濱元 陽一郎
2. 井部 達也
3. 児玉 裕章

1. 濱元 陽一郎

改めまして、濱元陽一郎と申します。2004年から2016年まで独立行政法人国立病院機構 災害医療センターで呼吸器診療を行って参りました。2004年当時は、災害医療センターで呼吸器診療がなくなったため呼吸器診療の立ち上げ目的で呼ばれました。この度、西埼玉中央病院の呼吸器診療の立ち上げのため診療することとなっております。

どうして、西埼玉中央病院を選んだのか？そこには、成宮学院長先生と成宮徳親先生（成宮先生のお兄様）のご縁であります。成宮 徳親先生とは、立川の非常勤での勤務先病院で、ご指導を頂いておりました。出身大学こそ異なりますが、私の高校の大先輩でもあり大変可愛がって頂いておりました。

災害医療センターを辞し、他への就職を考えていた際、西埼玉中央病院 呼吸器診療のお話を頂きました。

所沢の国立病院 西埼玉中央病院には、15年以上呼吸器診療の常勤医で不在とのことでした。所沢の人口34万人を考えると、多くの患者さまが遠くの病院

まで呼吸器診療を受診しに行かなければならない環境です。そのことを考えると、所沢の皆様には呼吸器診療が必要とされると感じ、即決断して就職をする事と致しました。また、国立病院での診療は、雨宮事務部長さん（当時）や木崎業務班長さん、小田嶋庶務班長さんなど、以前は災害医療センターと一緒に汗を流した仲間も多く所属している施設でもあり、私自身として大変働きやすい環境でありました。そのような与えられた環境を最大限に引き出し、所沢の呼吸器診療を盛り上げて参りたいと思います。

呼吸器診療の専門としては、呼吸器診療全般であります。カナダでの基礎研究留学では、主に気管支喘息の病態解明について研究をしていました。しかし、呼吸器診療で入院が必要な疾患として、肺の悪性腫瘍が重要です。肺癌の治療は、免疫療法や分子標的治療薬などの新規薬剤の承認とともに、近年治療が複雑化しています。肺癌のガイドラインは1年の間に改定される事もあります。その中で、中規模な入院病院として高齢者の悪性腫瘍などへも積極的に取り組んで参ります。

2. 井部 達也

はじめまして、井部達也と申します。出身大学は医科歯科で、初期研修を立川の災害医療センターで過ごしました。初期研修終了後、大学の医局に所属し、医科歯科大学本院や武蔵野日赤病院で呼吸診療をして来ました。2015年に大学を辞し、災害医療センター呼吸器科へ戻った後、2016年11月から西埼玉中央病院呼吸器科へ就職することを決めました。

所沢での呼吸器診療の1年半が経過しました。肺癌はこれから多くなり、遠方まで受診は困難な高齢患者様もいると思われます。そのため、我々は地域に根ざした最先端の治療提供を心がけています。また、膠原病・血管炎を含めた、肺線維症の患者さんが比較的多い印象があります。悪性疾患であれば、わかりやすい疾患ですが、間質性肺炎や血管炎などの疾患は長期間変わらない事もあり、見過ごされている事も多くあるようです。

まだまだ、始まったばかりの診療科ですが、呼吸器専門診療としてのののご相談をお待ちしております。

3. 児玉 裕章

西埼玉呼吸器科の後期研修医をしております、児玉裕章と申します。群馬大学を卒業後、昨年までは災害医療センターで初期研修をしておりました。研修医時代までは癌に興味を持っており血液内科を志望していたのですが、呼吸器ローテーション中に担当した患者で、呼吸困難で歩行不能となり搬送されてきた肺癌患者がイレッサ内服により劇的に改善し歩いて帰ったのを見て衝撃を受けた事が呼吸器科への興味の発端となりました。2017年4月より、初期研修で指導いただいた濱元先生、井部先生と共に西埼玉中央病院での診療と勉強に励んでおります。まだまだ若輩であり、学ぶことも多いですが日々精進していければと思っております。所沢の医療圏の先生方にもご指導ご鞭撻いただければと思います。今後ともよろしくお願い致します。

第4回、最終回では、所沢の呼吸器診療の今後の将来展望について書かせて頂き、まとめて参ります。

